

2024年度 授業計画（シラバス） 日本コンピュータ専門学校

学科名	学年	授業のタイトル（科目名）	
工業専門課程 デジタルクリエイター科	2	デッサンII	
授業の種類	授業担当者	実務経験	
講義と演習	新沢 靖雄	有	
<b>[実務経験歴]</b>			
<p>少年サンデー、少年マガジン、ヤングマガジンで佳作等受賞。 週刊少年サンデー（小学館）、マガジンFRESH（講談社）に作品掲載、通算掲載数5本。 企業広告イラスト、企業広告漫画（ウェブ、紙媒体）多数。</p>			
単位数（授業の回数）	時間数☒	配当時期	必修・選択
4 単位 （ 60 回 ）	120 時間	通年	選択
<b>[授業の目的・ねらい]</b>			
卒業制作のバックアップ。ここでは「紙に何かを描く」ことの継続のほか、商業デザインについてもレクチャを行い、その理解を促す。			
<b>[授業全体の内容の概要]</b>			
<p>課題を与え、制作されたものへ寸評や助言を与える。 制作内容についての助言。 進路に関する相談。</p>			
<b>[授業終了時の達成課題(到達目標)]</b>			
可能な限り作品のクオリティを向上させ、一つでも多く作品を完成させる。			
<b>[準備学習の具体的な内容]</b>			
マンツーマンで適宜アドバイスする。			
<b>[使用テキスト]</b>		<b>[単位認定の方法及び評価の基準]</b>	
使用テキスト		定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。	
「なるほどデザイン」筒井美希（MdN）		・試験の点数は60点以上を合格点とする。	
参考文献		・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。	
必要に応じて授業の中で紹介する。		評価基準	
		定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。	
<b>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</b>			
1回	作品制作、それにおける個別指導		
2回	作品制作、それにおける個別指導		
3回	作品制作、それにおける個別指導		
4回	作品制作、それにおける個別指導		
5回	作品制作、それにおける個別指導		



47回	作品制作、それにおける個別指導
48回	作品制作、それにおける個別指導
49回	作品制作、それにおける個別指導
50回	作品制作、それにおける個別指導
51回	作品制作、それにおける個別指導
52回	作品制作、それにおける個別指導
53回	作品制作、それにおける個別指導
54回	作品制作、それにおける個別指導
55回	作品制作、それにおける個別指導
56回	作品制作、それにおける個別指導
57回	作品制作、それにおける個別指導
58回	作品制作、それにおける個別指導
59回	作品制作、それにおける個別指導
60回	まとめと振り返り

## <お願い事項>

←学科名は、セルを選択すると右にセレクトアが出ます。学科を選択してください。

←授業の種類は、講義：教科書を使って講義中心の場合、実習：主に実習に場合、演習：主に論文や作文などの場合、両方

←実務経験は、企業に所属やフリーランス等で実際の業務に携わった内容を簡単に書いてください。

←企業名などの情報を書く必要はありません。。

←企業等に所属せず、フリーランスや請負、プロとしての実績なども実務経験歴になります。

←配当時期は、1単位は：「前期」または。「後期」、2単位以降は、「通年」になります。

←必修・選択は、不明な場合は選択されなくてもかまいません。

←授業の目的・ねらいは、この授業でどのようなことを理解させ習得させるかをの目標・ねらいを書いてください。

←授業全体の内容の概要は、本の章立てのことで、学習するおおまかな内容を書いてください。

←授業終了時の達成課題(到達目標)は、授業終了時までには習得させる学習目標を書いてください。

←準備学習とは、予習、復習、課題、宿題等の授業時間外の自学自習を指します。

←使用テキストは、セルを選択すると右にセレクトアが出ます。教科書または、教材を選択してください。教科書が使われな

←単位認定の方法及び評価の基準は、評価基準が異なる場合は、変更してください。

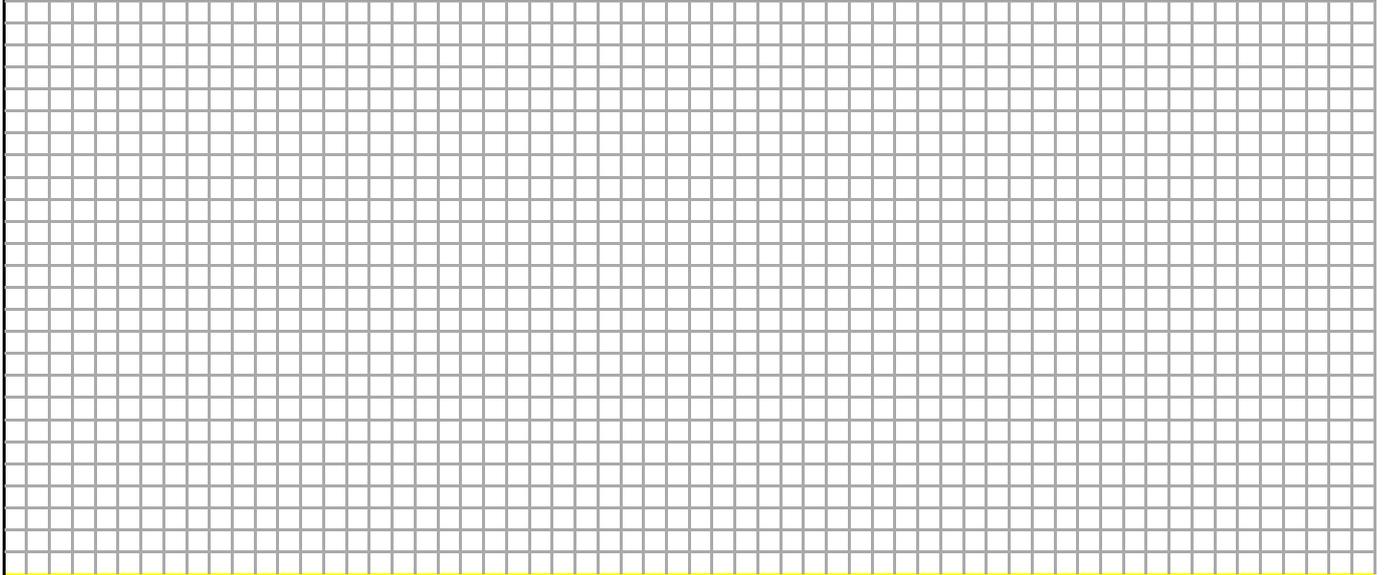
←参考文献は、特に変更する必要はありません。

←90分を1回(1コマ)として記入してください。

← 第一回定期試験とは書かないでください。

← 第二回定期試験とは書かないでください。

← 第三回定期試験とは書かないでください。



← 第四回定期試験とは書かないでください。

半々ぐらいの場合は、2つにチェックしてください。

ない先生は、プリント教材または、ホームページ、PDF教材を選んでください

